

----->>>
JPA事務局ニュース <No.166> 2014年9月12日
----->>>

<発行> 一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会(JPA)事務局
発行責任者/水谷幸司
〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2-28 飯田橋ハイタウン 610号
TEL03-6280-7734 FAX03-6280-7735 jpa@ia2.itkeeper.ne.jp
JPAホームページ <http://www.nanbyo.jp/>

☆JPA北海道・東北ブロック交流会、福島で開催
9月6日～7日、7道県の難病連から約100名が参加

JPA北海道・東北ブロック交流会は9月6日、7日と福島市内飯坂温泉の「飯坂ホテル聚楽」で開催されました。北海道、青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島から約100名が集まりました。



1日目は、開会の挨拶の後に厚生労働省健康局疾病対策課 課長補佐 星克憲氏、課長補佐松倉遊氏のお二人により「新しい難病対策の概要」の講演が行われました。

新しい難病対策に対しては、参加者からの質問で、現在でも専門医が少ない現状の中で、本当に私たちの身近に医療機関が設置されるのかとの意見等が出ました。

次に、JPA代表理事伊藤たてお氏より「難病対策と患者会の課題」と題して講演があり、厚労省の説明も含めて、難病対策の基本的な認識と理念の話があり、患者会として難病法をきちんととらえていくこと、難病に関心を持ってもらうこと、難病患者は普通に生活することが基本だということなどの話がありました。患者会として地方行政への働きかけなどについての話もあり大変勉強になりました。



交流会では、夕食を取りながら、各道県の紹介と出し物で大変盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。

2日目は、3つの分科会 第1分科会「難病対策について」 第2分科会「ピアサポートについて」 第3分科会「難病相談支援センターの役割について」を開催しました。

各分科会では、各道県からの現状報告と活動の報告がなされ、その後

は質問や話し合いで活発に討議されました。各道県での活動内容が異なっていることを知り、情報交換がなされてお互いに勉強になりました。

その後、全大会で分科会の報告、伊藤たてお氏の総括が行われ、次回開催県の青森県難病連から挨拶がありました。福島県難病連会長の閉会の挨拶で大会は終了となり、また元気に会えることを楽しみに、再会を約束して別れました。

(福島県難病団体連絡協議会 今井伸枝)

■ブロック交流会での厚生労働省の説明資料は、JPAホームページに掲載しています。

今後毎週開かれるブロック交流会の様子と資料もニュースとホームページで紹介していきますので、お役立てください。

(水谷幸司)

■JPAの活動継続のために、財政活動にご協力とご支援をお願いします

難病法の施行にむけて、このニュースの発行をはじめ各方面に活動を広めていくことが必要になっていますが、その一方で、財政的にはJPAは逼迫した状況にあります。

活動の継続のために、みなさまのご協力をお願いいたします。

○協力会員 1口 3000円(何口でも)

○賛助会員 1口 20000円(何口でも)

主に団体向けですが、個人の方でももちろん歓迎します。

○一般寄付 こちらも随時お受けいたします。

※協力会員、賛助会員、ご寄付(3000円以上)をいただいた方には、「JPAの仲間」(年4回発行)を、1年間、毎号お届けします。

◎郵便振替口座をご利用の場合

口座番号 00130-4-354104 加入者名 社)日本難病・疾病団体協議会

※通信欄に会費の種別または寄付とご記入ください。

※郵便振込用紙は郵便局にあります。必要な方にはお送りしますので事務局までご連絡ください。

◎銀行口座をご利用の場合

みずほ銀行飯田橋支店 普通預金 口座番号 2553432

加入者名 一般社団法人日本難病・疾病団体協議会

※銀行振込の場合は通信欄がないため、別途メール、FAXにて送金内容を事務局までご連絡をお願いいたします。

◎JPAホームページからクレジット決済でも協力会員、賛助会員の申込みができます。

トップページにあるバナーから、「協力会員募集」をクリックしてください。

.....